

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	02 自然と共生するまちづくり
	小項目	施策	03 省資源・省エネルギー
事務事業名			02 庁用物品調達管理事業
問			担当課(室) 財政課
合			職・氏名 財政係長・佐藤行弘
先			電話 0869-64-1810

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市職員
目的(何のために)	省資源・省エネルギーの実現に貢献する。
行政活動(どのような方法で)	庁用物品・コピー機・コピー用紙(グリーンマーク商品)の調達、修繕、管理を統括する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	省資源・省エネルギーの実現

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
庁用物品の管理時間	時間	510	431	439	
コピー用紙購入枚数	枚	2,382,500	2,509,000	2,279,500	
複合機(コピー機)リース台数	台	11	13	13	
必要人員	千円	982	1,099	614	
必要人員	千円	0.25人	0.23人	0.23人	1,734
事業費	千円	2,677	2,729	2,348	
国	千円				
県	千円				
支	千円				
出	千円				
金	千円				
担	千円				
負	千円				
入	千円				
金	千円				
源	千円				
市	千円				
債	千円				
権	千円				
所	千円				
有	千円				
限	千円				
外	千円				
の	千円				
他	千円				
( )	千円				
一	千円				
般	千円				
財	千円				
源	千円				
2,677	千円				
2,729	千円				
2,348	千円				
受	千円				
益	千円				
者	千円				
負	千円				
担	千円				
比	千円				
率	千円				
%	千円				

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
庁用物品の管理時間	時間	510	431	439
結果指標①	対前年比%	—	84.5%	101.9%
活動コスト	円	2,677,000	2,729,000	2,348,000
単位当たりコスト	円	5,249	6,332	5,349
結果指標②	対前年比%	—	—	—
活動コスト	円	—	—	—
単位当たりコスト	円	—	—	—

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
複合機(コピー機)プリント枚数	目標値(A)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	実績値(B)	1,296,914	1,788,468	1,918,129	到達目標年度
	達成率(B/A)	86.5%	119.2%	127.9%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
複合機(コピー機)を使用したコピー、ファックス受信、パソコンからのプリントなどの枚数多目的に使用できる複合機を導入し、個別プリンターの台数削減を進めている。このため、パソコンからのプリントが、個別プリンターから複合機へ移行しており、複合機のプリント枚数が増加している現状であるが、この枚数を削減することが省資源・省エネルギーの実現に貢献できると考え成果指標とした。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	グリーンマーク商品の調達により省資源・省エネルギーの実現に貢献することは、地球環境の保全に資することであり、目的の妥当性は高い。 一昨年、古紙100%含有商品の偽装事件があり、現在は、古紙50%、自社植林木ハルパ50%使用のものを調達している。
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識 庁用物品の管理にかかる時間数の削減も限界に達している。単位あたりコストを下げるため、調達単価の引き下げを行う必要があり、コピー用紙の入札による一括購入を開始した。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> <b>C</b> 判定理由・課題認識 複合機を使用したプリント枚数が大幅に増加している。これは、それまでのコピー機、プリンター、ファックスに分散していたプリントが、複合機に集約されてきた結果であると考えられる。 今後は、総プリント枚数の削減に努めるとともに、グリーンマーク商品の購入によって、環境に配慮する必要がある。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況		目標値		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
目標値	400	400	400	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
状況	○								
説明	コピー用紙の調達単価を引き下げるため、本庁、片上分庁舎、坂根分庁舎、日生総合支所、吉永総合支所分入札により一括発注することとした。(A4版1箱1,575円⇒1,533円、△42円)								

総合評価		評価区分<A~E>	
複合機のプリント枚数が増加し、プリンターやファックス、印刷機の使用枚数が減少しているが、複合機の利便性の良さから総プリント枚数が増加していると予測される。今後は、総プリント枚数の削減により省資源。省エネルギーに貢献する必要がある。	C	妥当性	A
		有効性	C
		効率性	E

平成22年度以降の方向性・内容		方向性		目標値		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
方向性	○	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了	1,800,000	1,800,000	1,800,000
説明	総プリント枚数の削減のため、プリントの必要性について啓発するとともに、1枚あたり単価の高いフルカラープリントの削減に努める。										
改善がある場合		評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果						